

南予地域の民俗芸能

1年2組 高内 美智 1年4組 宇治 愛海
1年4組 岡 千晴 1年4組 岡田 萌音
指導者 井上 真介・山下 佳世・西川いず美・小山 尊浩

1 課題設定の理由

全国的な民謡や民話はよく耳にするが、私たちの地元の南予や愛媛県内のものはあまり知られていない。そこで、私たちが知らないだけで実は受け継がれている民話などを調べ、どのような意味があるのか、なぜ伝えるのか、地域によってどのような特徴があるのか、などを知りたいと思った。民謡民話からは地の人々の日常生活の様子や、土地の様子を読み取ることができ、地域の歴史を学ぶよい資料となる。これから自分たちの地域を支えていくためにも、まずは、私たちの地域独特の歴史を知り、未来に活かしていきたいと考え、この課題を設定した。

2 仮説

地域に伝わる民話はその土地の環境の特徴が大きく関係しているのではないかと考えた。また、私たちが知っている地域の民謡といえばお祭りのときに歌われるものがある。地区ごとに細かく歌詞に違いがあるのではないかと考え、それにはどのような思いが込められているのだろうかと考えた。

3 研究の方法

(1) 民謡民話

ア 学校に残っている、愛媛県や南予地域の民話集や祭り歌などの民族芸能についての資料を調べる。また、南予地域の民謡民話の特徴をはっきり示すために、県内の地域（東予、中予）、県外の地域（岩手県）に対照を絞って比較する。

イ 実際に、民謡が多く歌われている秋祭りに出向き、現在の受け継がれている状況を知る。

(2) 鹿踊り

ア 現在も南予地域で多く受け継がれている民俗芸能として、鹿踊りがあることがわかった。

民謡や祭りについてよく知っている地域の方に地元の鹿踊りについてインタビューする。

イ 民謡民話同様、鹿踊りも県内、県外（東北地方）で比較して地域の特徴を見る。

表1 南予地域の民謡の集計

	労働歌	祭歌・祝い歌	踊り歌・舞謡	座興歌	語り物・祝福芸歌	子守唄	わらべ歌	計
宇和島市	2	2	16	1		2	13	36
吉田町	2	3	6					11
三間町	7	4	8			2	9	30
広見町	3	1	3	1	1	3	4	16
松野町	7	2	5	3	1	1		19
日吉村	3	1	3					4
津島町	5	3	4	3				13
内海村	10	15	7	2			12	41
御荘町	5	7	9		2	2	3	33
城辺町	5	1	4		1			11
一本松町		4	4			2	16	31
西海町	8	4	4				4	20
宇和島管内計	57	47	73	10	5	12	61	265

(昭和54年~56年調査)愛媛県民謡保存調査報告書より

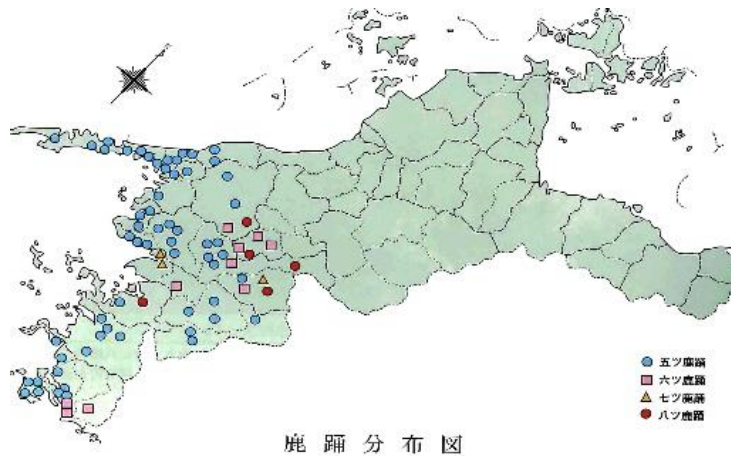


図1 獅子踊り分布図（愛媛県内）（愛媛県民謡保存調査報告書より）

4 結果と考察

地域の民俗芸能は、その土地の環境や暮らしに大きく関係していた。自然が豊かな南予地域は、山、川、滝など自然環境についての民謡、民話が多かった。また、各地区の方言で書かれているものがほとんどだった。東北地方で受け継がれている民謡もやはりその土地の環境についてのものが多かった。雪が多い地域なので、大雪の様子や、暖をとりあう様子が歌われているのもあった。また、牧畜などの産業についての歌もあり、昔の様子がよくわかる。南予地域においては、農業などで生活をしていた人がほとんどであったことがわかる。現代の南予のイメージや、特産物を聞かれると、ほとんどの人が農作物と答えるのではないだろうか。このことから、現在の南予のイメージは民謡と深く繋がっていることがわかり、地元にあるものでしっかり現代の産業の基礎を築いてくれたと考えられる。

5 まとめと今後の課題

民謡や民話などの民俗芸能には、おじいさんやおばあさん、先生などが孫や子供たちに伝えていきたい思いが込められている。素直な心、思いやりの大切さなどの教訓は、昔から人間形成の糧になってきている。民俗芸能を受け継ぐことは人間的に成長することに大きなプラスになるだけでなく、その地域の特色を知り、それを生かして町を活性化できるよい材料になるのではないかと感じた。民謡に大きく関係している自然環境にも目を向け、環境破壊が社会問題になっている今、民謡を通して自然の大切さを再発見できるのではないだろうか。さらに、現代の地域産業を見直すことにもつながるはずだ。

現在、地域の民俗芸能を知っている人は少なくなっている。また、受け継がれる機会もほとんどない。そこで、私たちが民謡や民話などをボランティアとして小学校や幼稚園で読み聞かせをし、民謡に触れる機会をつくるのはどうだろうか。さらに、高齢者の方にも協力してもらうことで、地域の中での交流も活発になると考える。長い時間を大切に受け継がれてきたものを、これから地域の活性化のために積極的に利用していきたい。

参考文献

- ・愛媛の伝承文化 大本敬久
<http://blog.goo.ne.jp/uchikonotemae>
- ・愛媛県民謡保存調査報告書